

第 21 回「きみはいい子」 (2015)

抱きしめられたい。子どもだって。おとなだって。 まじめだが優柔不断で、問題に真っ正面から向き合えず肝心なところで一步を踏み出すことができない新米の小学校教師・岡野。近所のママ友たちとの表面的な付き合いの陰で自分の娘に手をあげ、自身も親に暴力を振るわれていた過去を持つ雅美。他人と会話をかわすのは、登下校の途中で挨拶をしてくれる名前も知らない小学生のみ。最近感じはじめた認知症の兆しにおびえる独居老人・あきこ。とあるひとつの街に暮らし、さまざまな局面で交差しながら生きているおとなと子どもたち。悩みや問題を抱えて生きる彼らが、人と人とのつながりに光を見だし小さな一步を踏み出していく。

監督 呉美保

- ・告別 (2001 年、スクリーンライター)
- ・なごり雪 (2002 年、スクリーンライター)
- ・ハルモニ (2003 年、監督)
- ・酒井家のしあわせ (2006 年、原作・脚本・監督)
- ・ハチミツドロップス (2009 年、脚本)
- ・DOR@MO THE MOVIE 「I Love You」 (2009 年、監督)
- ・オカンの嫁入り (2010 年、脚本・監督)
- ・サビ男サビ女 (2011 年、「くれえむないと!」監督)
- ・そのみにて光輝く (2014 年、監督) ※第 88 回キネマ旬報ベスト・テン 1 位
- ・きみはいい子 (2015 年、監督) ※第 89 回キネマ旬報ベスト・テン 10 位

出演 高良健吾／岡野匡

- ・ハリヨの夏 (2006 年 10 月 14 日、葵プロモーション) - 杉本翔 役
- ・地下鉄に乗って (2006 年 10 月 21 日、ギャガ・コミュニケーションズ / 松竹)
- ・蛇にピアス (2008 年 9 月 20 日、ギャガ・コミュニケーションズ) - アマ 役
- ・南極料理人 (2009 年 8 月 8 日、東京テアトル) - 兄やん 役
- ・ノルウェイの森 (2010 年 12 月 11 日、東宝) - キズキ 役
- ・きいろいゾウ (2013 年 2 月 2 日、ショウゲート) - クモほか (声) 役
- ・武士の献立 (2013 年 12 月 14 日、松竹) - 舟木安信 役
- ・万引き家族 (2018 年 6 月 8 日公開、ギャガ) - 前園巧 役
- ・人間失格 太宰治と 3 人の女たち (2019 年 9 月 13 日公開、松竹) - 三島由紀夫 役
- ・カツベン! (2019 年 12 月 13 日公開、東映) - 茂木貴之 役
- ・星の子 (2020 年 10 月 9 日公開、東京テアトル・ヨアケ) - 海路さん 役

尾野真千子／水木雅美

- ・萌の朱雀（1997年11月1日、ビターズ・エンド） - みちる 役（主演）
- ・クライマーズ・ハイ（2008年7月5日、東映 / ギャガ） - 玉置千鶴子 役（ヒロイン）
- ・のぼうの城（2012年11月2日、東宝 / アスミック・エース） - ちよ 役
- ・そして父になる（2013年9月28日、ギャガ） - 野々宮みどり 役（ヒロイン）
- ・ミュージアム（2016年11月12日、ワーナー・ブラザース映画） - 沢村遥 役
- ・台風家族（2019年9月6日[注 2]、キノフィルムズ） - 鈴木美代子 役
- ・影踏み（2019年11月15日、東京テアトル） - 安西久子 役（ヒロイン）
- ・ヤクザと家族 The Family（2021年、スターサンズ / KADOKAWA） - 工藤由香 役

池脇千鶴／大宮陽子

- ・大阪物語（1999年、東京テアトル、監督：市川準） - 霜月若菜 役
- ・ジョゼと虎と魚たち（2003年、アスミック・エース、監督：犬童一心） - ジョゼ役
- ・きょうのできごと（2003年、コムストック、監督：行定勲） - ちよ 役
- ・20世紀少年 第1章 終わりの始まり（2008年、監督：堤幸彦） - エリカ 役
- ・舟を編む（2013年、監督：石井裕也） - 三好麗美 役
- ・凶悪（2013年、監督：白石和彌） - 藤井洋子 役
- ・万引き家族（2018年、監督：是枝裕和） - 宮部希衣 役
- ・男はつらいよ お帰り 寅さん（2019年、監督：山田洋次） - 高野節子 役

『そのみにて光輝く』で、モントリオール世界映画祭最優秀監督を受賞した呉美保監督作品。呉美保監督は、三重県伊賀市出身。

原作の『きみはいい子』（きみはいいこ）は、中脇初枝による日本の連作短編集。児童虐待を題材に書き下ろし、2012年5月20日にポプラ社より刊行された。どこにでもある新興住宅街を舞台に、育児放棄や児童虐待を“される側”のみならず“する側”の問題にも焦点を当てて描く。第28回（2012年度）坪田譲治文学賞受賞作。